

NST NEWS

H19.7.26
第12号



末梢静脈栄養時のトラブルって どんなことがあるの？

末梢静脈栄養時のトラブルに**静脈炎**があります。静脈炎とは針を刺している周囲が炎症を起こして赤く腫れたりすることで、多くは痛みを伴います

その原因は？

- ・ 静脈針の材質やサイズ、針を刺している期間など
(期間が長くなるほど発生しやすくなります)
- ・ 輸液の浸透圧やpHによるもの

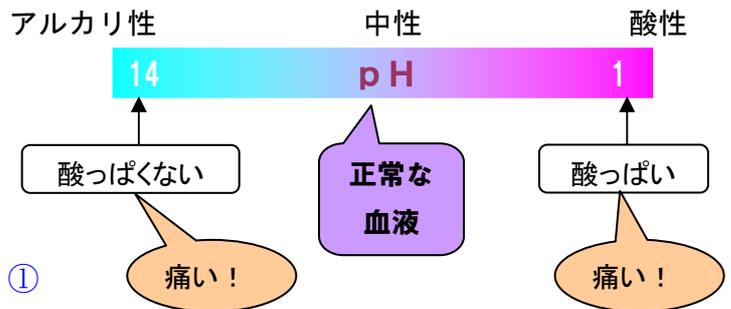


輸液の浸透圧やpHとは？

- ・ 浸透圧とは、濃度の指標の1つです。血液や生理食塩液を基準にして、浸透圧比が高いほど起こりやすくなります。浸透圧比には差があり、末梢静脈から投与できる浸透圧比は、約3が上限とされています。ちなみに高カロリー輸液であるアミノトリパの浸透圧比は1号が約5、2号が約6なので中心静脈からの投与となります。
- ・ pHとは、酸性であるかアルカリ性であるかをみる指標です。血液の正常なpHは7.4です。輸液のpHとの差が大きいほど血管への刺激が強く、静脈炎が起こりやすくなります。

【当院の輸液の浸透圧比の一例】

輸液	浸透圧比
フィシザルツ (生理食塩液)	1
KN補液3B	約1
ポタコールR	約1.5
トリフリード	約2.6
ツインパール	約3



予防法は？

- ・ なるべく太い血管に投与する
- ・ 細い針を使う
- ・ ゆっくり投与する
- ・ pHが中性に近い輸液を選択する
- ・ 2～3日毎に点滴位置を刺しかえる …当院では72時間毎



高齢者は血管が細いため、静脈炎が発生しやすくなります。また痛みを訴えることができない方もいらっしゃいます。早期発見のために、**投与中のきめ細かな観察が必要**です。

第 12 回合同看護研究発表会に参加しました！

6/23（土）によみうり文化ホールで開催され、その中で信友院長が
当院の NST について発表されました。舟木主任とともにシンポジウム
の座長も務めました。本音トークで盛り上がりましたよ。
当院の発表の内容の一部を職員の皆様にも紹介します。



【平成 18 年度活動報告 ～NST 定着に向けての活動と現状～】

NST 回診依頼件数 66 件 月平均 5.5 件 改善件数 33 件 (50%)
改善が見られない場合は、経管栄養や中心静脈栄養に移行。



【主な活動内容】



1. 4 月から月 1 回栄養科・病棟カンファレンスの実施

低栄養のリスクの高い患者をピックアップし定期的にカンファレンスし改善が見られない場
合、NST 回診依頼や食事変更の提案、検査依頼を主治医に行っている。

2. NST 回診の実施（毎週水曜日）

3. ランチャイム勉強会の実施（月 2 回）

平成 18 年 8 月より NST の活動を委員と
職員が共に勉強し活動への理解を深める
目的で、昼休みに 30 分間開催している。



4. NST ニュースの発行

NST 活動を職員に認識してもらうために
栄養・嚥下等について知識、活動状況を分か
りやすく載せ、各部署に配布している。
ホームページにてバックナンバー提示。



5. 各病棟にリンクナースを設置

NST の目的や活動を知ってもらい、
NST と連携し栄養不良患者の
早期発見と看護計画に基づいた
看護・介護実践などスタッフへ
の指導の役割を担う。



【今後の課題】

- ・ ST との連携強化
- ・ 褥瘡委員会との連携推進
- ・ リンクナースの病棟での役割強化
- ・ 地域健康講座の開催

（在宅療養患者への情報提供）

ランチャイム勉強会の会場が 6 月から変更になっとりまっせー

【変更前】A 会議室 ⇒ 【変更後】CD 会議室

ゆったり参加してもらえようになりましたんで、
弁当持参で気楽にのぞいてみてや～！！



協立温泉病院・栄養管理委員会

